



<宮西 豊 (みやにし ゆたか) >

国、地域：ロシア（サハリン）

年 齢：84歳

現 職：レストランふる里オーナー

○ サハリンにおける日本食の普及に対する貢献

- ・約20年にわたり日本食レストランを経営。
- ・サハリン州政府やユジノサハリンスク市が主催する料理イベントへの協力。
- ・現地大学等において、日本食のデモンストレーションや料理コースを数多く実施し、ロシア人に日本料理の指導を行い、日本食の普及及び発展に貢献。

1991年にサハリン州・ユジノサハリンスク市へ渡り、ホテルの副社長を経て日本食レストラン（1997年～2003年「アスカ」、2003年～現在「ふる里」）を開業。提供するメニューは100種類以上あり、全てが奇をてらわない「本物の日本料理」であり、「器を含めて日本料理」のモットーから、使用する器は自ら選んだ物を日本から取り寄せている。座席数120の店内はロシア人の利用客で常に賑わっており、遠くモスクワなどから日本の味を求めて来る人もいるくらいだ。

また、経営の傍ら、日本料理コンテストや日本食のデモンストレーションなどサハリン州政府が主催する事業・行事へ積極的に協力するとともに、ユジノサハリンスク経済法律情報大学（現 サハリン人文技術大学）において10年間に渡り日本食に関する講義を行い、同大学から名誉教授に任命されるなど、サハリンにおける日本食の普及及び発展に貢献している。

これらの取り組みに加え、現地病院に対する医療設備の寄贈や孤児院に対する支援、そして桜の苗木の寄贈など慈善事業にも尽力。桜が植えられたガガーリン公園内の250mの並木道は「宮西通り」として市民に親しまれている。2008年には外国人として2人目の「ユジノサハリンスク名誉市民」となり、サハリンで著名な日本人である。